

ごあいさつ

京都女子大学栄養クリニックは、今年で開設15周年を迎えることができました。これもひとえに、多くの先生方やスタッフの皆様、関係する皆様に支えられてのことであり、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の為、10周年の時のように、記念イベントの開催ができませんでしたので、この15号を記念特別号として、発刊させていただきました。

今年度も、コロナ禍の影響で多くの活動に行動制限が続く中で、栄養クリニックでは対面とオンラインそれぞれのメリットを生かしながら様々な事業を実施いたしました。料理教室、大学祭やフェアの栄養アセスメント体験・栄養相談、特定保健指導などは、感染対策に十分に配慮しながら対面で実施することができました。一方で、生涯学習講座や栄養講座はオンラインで行い、コロナ禍の前に行っていた対面による実施よりも、より多くの方々に参加いただけるようにしました。さらに、昨年の夏からは、メールマガジンに加えて新たにインスタグラムを開始し、広報活動の充実を図りました。

新型コロナウイルス感染症は、未だ私たちの生活に影響を及ぼしているものの、収束に向けての新たな段階を迎えようとしております。これからのアフタコロナの環境の下で、栄養クリニックは、引き続き「地域貢献」「教育活動」「広報活動」「研究活動」のそれぞれの分野で事業を発展させることができればと考えております。今後とも一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和5年3月

栄養クリニック長

宮脇 尚志

